

SERIES

総合型地域スポーツクラブ②

スポーツのさらなる  
発展を目指して

前沢いきいきスポーツクラブ

クラブマネジャー 及川 浩行

前沢スポーツクラブは平成21年1月に旧前沢町のスポーツ施設が奥州市の指定管理制度導入に伴い設立されました。通常1～2年の準備期間を経て設立される場合が殆どと思われますが、一か月も満たない期間で慌ただしく設立されました。従って、21年度は指定管理業務が中心となり、クラブとして本来の事業は少なく、逆に設立準備期間の感は否めません。

前沢区(旧前沢町)はスポーツの盛んな地であり、スポーツ少年団が28団あり、それぞれが熱心に活動していて、特にバドミントン、ソフトボール、ソフトテニス、ミニバス、一輪車などは県大会で常に上位の成績を収めている。また、昔から、野球、バドミントンなどが盛んで、前沢高校のバドミントンは十数年間、県大会で優勝を続けている。しかし、前沢においても少子・高齢化の影響は強く、中学・高校の部員・指導者不足、スポ少の団員不足、指導者の高齢化の状況は他と同様であり、また、選手養成だけでなく純粋にスポーツを楽しめる機会が不足している現状でもある。

従って、総合型地域スポーツクラブの理念である、誰でも、いつでも、世代間を超えてスポーツを楽しむ環境づくりの実現が期待される。

当クラブが管理しているのは前沢スポーツランド[野球場、テニスコート、多目的グラウンド(サッカー・陸上)、パークゴルフ場、海洋センター(アリーナ、格技場)、プール(夏季)]、前沢スポーツセンター(体育館)、グリーンアリーナ[アリーナ(フットサル・テニス)、テニスコート]の3施設であるが、マラソン大会(3,000人規模)、駅伝大会、ナイターソフトボール大会、ビーチボール大会、かなづち水泳教室などを市と協働で開催している。また、奥州市体育協会支部事務局、スポーツ少年団支部事務局も担当している。

当クラブの2年目の活動計画は個人会員は昨年同様募集しないで、22年度は所属3団体(ソフトテニススポ少、バドミントンスポ少、パークゴルフ)のクラブ活動を基盤に昨年に続きアンテナショップ的なスポーツ教室・講習会、スポーツ大会、交流会を数多く開催し、クラブ対しての理解を広めたいと思います。

そのためにも、多種目の指導者の確保を図り、前沢区の7つの体育会と連携を深めることが大切で、設立3年目の来年度は個人会員が入会できる総合型のクラブ活動としての実質的スタートなることを目指しています。

前沢いきいきスポーツクラブ事業

[平成22年度]

- 親子体操教室
- 夏休み水泳教室
- 中高齢者健康体操
- スポーツ少年団交流会
- コーディネーショントレーニング学ぼう会
- フットサル大会
- ナイターソフトボール大会
- 駅伝大会(奥州と共催)
- 前沢マラソン(奥州ト共催)
- ビーチボール大会(奥州市と共催)
- かなづち水泳教室(奥州市と共催)



[平成23年度]

- 上記22年度行事を23年度も開催
- ジュニアソフトテニス大会(胆江地区)
- ソフトテニス講習会(小・中)
- ソフトテニス教室(月2回)
- バドミントン教室(月2回)
- パークゴルフ講習会
- ジュニアバドミントン交流会
- 卓球講習会
- 合気道講習会
- 水中ウォーキング教室
- ニュースポーツ講習会(年2回)
- マンデースポーツ教室
- [特定の種目ではなく、特定の曜日(月曜日)に多種類の競技種目]
- フットサルナイターリーグ
- パークゴルフ大会
- グラウンドゴルフ大会
- ゲートボール大会
- ニュースポーツ教室

■会員数(平成22年・3月)

	10代未満	10代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	合計
男性	10	10	2	6	2	5	2	37名	68名
女性	5	24	1	1				31名	